



島根県立三刀屋高等学校 掛合分校

校長発 『ほんりゅう』

【3月号③】令和7年3月24日



■思考のストロー現象—3 学期終業式にて—

今日で3学期、令和6年度が終わります。2年生の皆さんは高校生活の3分の2が、1年生の皆さんは3分の1が終わろうとしています。入学式から早いもので2年、1年が経ちました。皆さんが入学時に抱いていた高校生活への思いや期待は、実感できるものになっているでしょうか？昨年度の3学期終業式で、私は「この春休みを“階段の踊り場”にとらえ、あの時のこと、その時のことを自分なりに振り返り、一つ上のステージを目指すための修正期間と考えてください。」と言いました。春休みは4月からの1年間を振り返り、次のステージに向かうための力を蓄える重要な期間です。

東京・品川駅前の交差点に立つと「世界初、品川発。名古屋まで最速40分 大阪まで最速67分 リニア中央新幹線、開業に向けて進行中！」※という大きな看板が目飛び込んできます。新幹線は昨年開通60周年を迎えました。私と同じ年です。2025年現在新幹線が通っていない都道府県は、千葉・山梨・三重・奈良・和歌山・鳥取・香川・徳島・愛媛・高知・大分・宮崎・沖縄、そして島根県です。松江駅前には「中海・宍道湖・大山圏域への新幹線整備の実現を目指して」というフレーズとともに山陰新幹線、伯備新幹線のルートも示されています。山陰新幹線は「全国新幹線整備法」に基づき、建設を開始すべき新幹線鉄道の路線（大阪市・下関市間）として1983（昭和48）年に基本計画が決定されました。しかし、現在に至っても計画は進展していません。都市部ばかり交通網が整備されていく感じで、地方としては何か取り残されている感じもします。しかし、新幹線が開通したら本当に便利になるのでしょうか？雲南市も経由する高速道路「松江・尾道線」を例にとり考えてみるとどうでしょう。確かに松江市から尾道市に行くには、早くて便利です。雲南市から松江・広島方面に行くにも同様です。では、沿線の市町には高速道路開通の恩恵があるのでしょうか？高速道路も新幹線も恩恵を受けるのは、始発地点と終点地点であり必ずしも沿線地域に恩恵をもたらすとは限りません。むしろ人口流出等により衰退の危機を招くことすらあります。これを、コップに入った飲み物をストローで飲む様子に例えて「ストロー現象」とか「ストロー効果」と呼びます。

最近では、いかに効率よく時間を使いながら成果を上げていけるかが重要視される傾向にあります。いわゆるタイパとかタムパ（タイムパフォーマンス・時間対効果）とか呼ばれる考え方です。もちろん、それは仕事をこなす上では重要なものです。ただ、効率を重視するあまりクオリティの低下につながる場合もあります。皆さんが今年度取り組んできた探究活動などにおいては、少々時間がかかっても、問いを立て結論を導き出すまでのプロセスこそを大切にする姿勢が必要です。この姿勢は、日々の生活における出来事に対しても言えることではないでしょうか。すぐに答えにたどり着こうとする“思考のストロー現象”に陥るのではなく、時に立ち止まって丁寧に向き合う時間をつくってみる。案外その方が、早く目的地にたどり着けるかもしれません。

最後に、今年度1学期の始業式、入学式で話した言葉をもう一度皆さんに贈ります。「自分の中に可能性の芽を見つけたら、自分なりの方法で少しずつ大きく育てていきましょう。その先に、あなた自身のパーソナリティが形づくられていくはずですよ。そして、自分なりの方法で、自分を表現していきましょう。急がなくてもいいですよ。じっくりゆっくりと向き合ってください。今の自分を少し超えて、今以上の自分をめざして、今一度自分自身に向き合ってみませんか？」

どうか充実した春休みを、そしてイチニチイチニチというプロセスを大切にして高校生活を過ごしてください。三高生徒の皆さんをいつまでも応援しています。

※2024年8月現在。2025年には「DRAMATIC FUTURE EXPRESS 走り出した未来 リニアと新しい物語を描こう」となっています。

東京品川駅前



松江駅前



2024年8月現在



2025年3月現在